

大都市近郊地域における鉄道会社が行う里山などの環境を利用したレクリエーション空間の整備に関する研究

○岡田 慎弥（東京農業大学大学院農学研究科）
下嶋 聖（東京情報大学総合情報学部）
麻生 恵（東京農業大学地域環境科学部）

1.研究の背景と目的

都市近郊の里山は従来はレクリエーションの対象としてあまり注目されてこなかった。例えば、多摩丘陵は多摩ニュータウンなど住宅の供給地として開発が進んだが、人口減少社会への移行や都心居住志向により、今後はかつてのような大規模開発は行われなだろうとされ、今後、未利用地が増加することが懸念されている。そうした状況をふまえて、例えば町田市の一部では、都市計画マスタープランを変更し、里山環境を活かしたまちづくりへと転換する事例も出てきた。近年は里山は市民の身近な野外レクリエーション空間として注目されるようになり、首都圏のレクリエーション体系においても、都心から気軽にアクセスできる中距離地域のニーズが求められている。

里山などの景観や地域環境の保全方法については、従来は行政中心で、後に、NPO 法人などの市民グループの参画もみられるようになり、現在では行政・市民中心で議論がなされている。そのため、もう一つの主体である企業における対応はあまりなされてこなかったといえる。しかし、最近の傾向として鉄道会社をはじめとする多様な企業が参画する動きがみられるようになった。これまで観光客の輸送や観光レクリエーション地の開発を行ってきた私鉄も新たに対応をし始めている。小田急電鉄では、里山を含めた身近な沿線の自然環境の保全を目的として環境活動を行っている。これは自然の大切さをアピールする自然との共生を目指した環境活動として位置付け実施しており、その環境活動が、一部レクリエーション的な機能を果たしているといえる。

里山地域の利用者は中高年世代が中心であり、健康志向、自然志向の高まりや、今後の団塊の世代の大量退職といった社会背景が変化していることから、レクリエーションに対する利用者のニーズにも変化が生じていると考えられる。

本研究では、小田急電鉄が観光事業を手がけた地域や同社線の沿線地域を対象として、そのレクリエーション空間の変遷を明らかにする。また、現在の鉄道会社としての役割や意識を把握すると共に、実際に沿線の身近な自然や里山を散策する利用者の意識やニーズ、そこにレクリエーション空間として求められるものについても把握したうえで、企業（鉄道会社）が近郊地域の里山地域の環境を活かしたまちづくりにおいて、どう関わっていくのかを明らかにすることを目的とする。

2.研究方法

2-1 文献調査

社史を中心とした関連文献及び関連資料から小田急電鉄の手がけた観光事業や、同社線沿線地域でのレクリエーション利用をハード・ソフト両面から明らかにした。同時に、旅客輸送の歴史も明らかにした。

2-2 アンケート調査

企業、利用者の各主体の意識やニーズを把握するため、アンケート調査を実施した。

2-2-1 里山利用者に対する意識調査

2006年11月26日(日)に町田市小野路地区で行われた、NPO 法人みどりのゆび主催の「フットパスまつり」の参加者に対しアンケート調査を実施し、里山地域の整備のあり方等についての意識を把握するために行った。その場で参加者97名に対しアンケート用紙を配布し、80枚を回収した。(回収率82.5%)

2-2-2 鉄道会社に対するアンケート調査

小田急電鉄の担当者(法務・環境統括室)に対してアンケート調査を実施した。特に、身近な自然や里山を対象としたレクリエーションを中心に、現在の鉄道会社として行っている取り組みや意識を把握した。

2-3 地図を用いた特性把握

1/50,000の地形図を用い、現在実際に小田急電鉄が関わっているレクリエーション空間を地図中にプロットすることにより、都心からの距離別の特性や施設・空間別のレクリエーション利用の特性を把握した。

3.結果

これまで私鉄は遊園地をつくるなどしてレクリエーション利用に対応してきた。遊園地などの施設型のものは、1980年代から90年代初めまでは新たなアトラクションの導入が相次いだ。その後、向ヶ丘遊園、御殿場ファミリーランドなど閉園している施設が多くある。ハード面では一方で、アウトレットモールや複合型商業施設が近年多く開業する傾向にある。

箱根においては、現在まで長年にわたり様々な施設が開設されており、持続的なニーズがあるものと考えられる。

全体を通しては、ハード面による対応が積極的であった時期もあったが、近年はソフト面によるレクリエーション空間の利用が多くなってきている。

沿線の身近な自然や里山などにおける環境活動を含むレクリエーション利用には以下のようなものがある。1992年には小田急線沿線のウォーキングイベントである「小田急のんびりハイク&ウォーク」を開始した。これについては、現在は年間30回程度実施しており、28,000人程度の参加者がある。1999年には小田急線沿の美しい花の寺を紹介するガイドブック「小田急沿線花の寺四季めぐり」を同社線主要駅において1冊1000円で発売した。2003年3月には「小田急沿線自然ふれあい歩道」が10コース選定された。「小田急沿線自然ふれあい歩道」とは小田急線の駅を起・終点とするおおむね4~5kmの沿線の身近な自然や文化財とふれあえる散歩コースである。これらのコースのマップを作成し、冊子を駅に置いて配布したり、ホームページに掲載して告知している。同歩

道は2003年10月に20コース、2004年10月に30コース、2005年10月に40コース、2006年10月に50コース、2007年10月に60コースに拡大されている。(表・1参照)また、小田急電鉄には今後も同歩道の選定を順次進め、小田急線の全駅をカバーする「散歩道ネットワーク」に発展させていきたいという計画がある。

小田急電鉄へのアンケートからは、環境問題の深刻化やCSR(企業の社会的責任)への対応から、「環境負荷の低減」と「自然との共生」を目標に環境活動(黒川地区の社有林での里山保全活動、小田急沿線自然ふれあい歩道の選定活動など)を展開しており、「沿線価値の向上」に務めていることがわかった。また、小田急線沿線の景観資源を貴重な財産と捉えており、今後の検討事項として、箱根地区を対象としたエコツアーを取り上げている。エコツアーでは新しい顧客ニーズに応え、地域振興にも貢献するものと期待している。同社が実施している自然を対象としたイベントには中高年の参加者が多く、団塊の世代が定年を迎える時期と重なるため、今後さらにこの傾向が高まると予想しており、このようなニーズの変化にも的確に対応していく必要性も把握された。

地図を用いた特性把握からは、レクリエーション利用の全体傾向として、箱根、江の島などの遠隔地の利用に加えて、都心から近距離～中距離にあたる地域の利用が増えている。近距離～中距離はこれまでレクリエーションの空間としての利用は多くはなかったが、小田急沿線自然ふれあい歩道や小田急のんびりハイク&ウォークではこのような地域を対象として利用し始めたため、環境活動を含めたレクリエーションの利用が増加している。また、施設型のレクリエーション利用だけでなく、里地・里山や市街地内の緑道などのオープンな空間への志向が見え始めており、このような利用の比重も増している。

里山利用者に対するアンケート調査からは、里山地域を歩く場合のガイドの必要性、散策道の明確化(標識などの整備)、トイレ、案内所(ビジターセンターなど)、休憩所、農産物直売所、駐車場などの整備などのニーズが把握された。

参考文献・参考資料

- 1)小田急電鉄株式会社社史編集事務局編(2003):小田急75年史:小田急電鉄株式会社
- 2)小田急電鉄株式会社法務部環境担当編(2003):おだきゅう増刊号環境特集:小田急電鉄株式会社法務部環境担当
- 3)小田急電鉄株式会社法務・環境統括室編(2006):小田急沿線自然ふれあい歩道 自然豊かな散歩道ガイドブック Vol.1・2 改定号:小田急電鉄株式会社法務・環境統括室
- 4)小田急電鉄株式会社法務・環境統括室編(2006):小田急沿線自然ふれあい歩道 自然豊かな散歩道ガイドブック Vol.5:小田急電鉄株式会社法務・環境統括室
- 5)NPO 法人みどりのゆび編(2002):多摩丘陵フットパス 1—散策ガイドマップ—:NPO 法人みどりのゆび
- 6)NPO 法人みどりのゆび編(2004):探検しよう ぼくらのまち多摩丘陵:NPO 法人みどりのゆび
- 7)宮崎政雄、麻生恵(2004):多摩丘陵におけるフットパス計画による里山景観保全への取り組み:ランドスケープ研究 68(2),126-129

表-1 小田急沿線自然ふれあい歩道一覧

No.	コース名	コースタイトル	距離	路線	選定年月
1	代々木八幡駅～代々木上原駅コース	玉川上水緑道と緑豊かな邸宅街を巡って	4.0km	小田原線	2007年10月
2	世田谷代田駅～下北沢駅コース	都会の中の緑道とゆかりの社寺を巡って	5.4km	"	2006年10月
3	豪徳寺駅コース	烏山川緑道に沿った世田谷の社寺を訪ねて	6.5km	"	2005年10月
4	千歳船橋駅コース	烏山川緑道から蘆花恒春園をめざして	6.7km	"	2006年10月
5	祖師ヶ谷大蔵駅コース	仙川の流れとともに自然の魅力を味わって	5.9km	"	2006年10月
6	成城学園前駅コース	成城のきしべの路に自然を求めて	6.0km	"	2004年10月
7	狛江駅～喜多見駅(野川)コース	新旧野川の自然と歴史を求めて	6.4km	"	2005年10月
8	狛江駅～喜多見駅(岩戸川緑地)コース	岩戸川緑道から由緒ある寺をめざして	4.9km	"	2007年10月
9	狛江駅～和泉多摩川駅コース	由緒ある社寺と多摩川の清流を巡って	5.3km	"	2003年10月
10	登戸駅～向ヶ丘遊園駅コース	二ヶ領の流れに沿って高台の社寺を仰ぐ	6.5km	"	2005年10月
11	向ヶ丘遊園駅(栴形山)コース	生田緑地・栴形山をめざして	3.5km	"	2003年3月
12	向ヶ丘遊園駅(日向山)コース	生田に残る水と緑を求めて	5.8km	"	2005年10月
13	読売ランド前駅コース	雑木林に花と緑と史跡を訪ねて	5.7km	"	2004年10月
14	柿生駅(麻生川)コース	里山の寺と麻生川の桜並木を訪ねて	4.0km	"	2003年10月
15	柿生駅(王禅寺)コース	起伏の中に自然豊かな公園や社寺を訪ねて	7.8km	"	2005年10月
16	鶴川駅コース	ツツジに囲まれた寺と里山を訪ねて	5.0km	"	2003年3月
17	玉川学園前駅コース	住宅地に残る豊かな自然を求めて	5.9km	"	2003年10月
18	町田駅コース	湧水豊かな窪地の公園から恩田川に沿って	5.4km	"	2003年10月
19	相模大野駅コース	相模野の豊かな森につつまれて	8.9km	"	2005年10月
20	小田急相模原駅コース	住宅街の緑道に緑の湧きを求めて	6.4km	"	2006年10月
21	相武台前駅コース	切り通しの坂道を登り広々とした畑を巡って	4.2km	"	2003年10月
22	座間駅コース	座間の自然と歴史を巡って	3.7km	"	2003年3月
23	海老名駅コース	海老名の歴史と自然を訪ねて	7.0km	"	2003年10月
24	海老名駅～厚木駅コース	田園地帯を抜け相模川に沿って	4.2km	"	2003年3月
25	伊勢原駅コース	大山の麓に広がる懐かしの里地を味わう	7.6km	"	2004年10月
26	鶴巻温泉駅コース	山あいにたずむ歴史ある社を訪ねて	7.3km	"	2004年10月
27	鶴巻温泉駅～秦野駅コース	雄大な眺望が広がる弘法山をめざして	7.2km	"	2006年10月
28	秦野駅～渋沢駅コース	蘆生湖と渋沢丘陵の尾根道を巡って	6.8km	"	2006年10月
29	渋沢駅(渋沢丘陵)コース	渋沢丘陵に爽快な自然の味わいを求めて	8.0km	"	2003年10月
30	渋沢駅(四十八瀬川)コース	心むむ景色が広がる山里の径へ	8.8km	"	2007年10月
31	新松田駅コース	松田山からの眺望とハーブの香りを味わって	3.9km	"	2007年10月
32	新松田駅～開成駅コース	酒匂川とあじさいの里を巡って	6.6km	"	2003年10月
33	富水駅～開成駅コース	二宮尊徳ゆかりの地に自然を訪ねて	4.6km	"	2004年10月
34	壺田駅コース	狩川の清流とのどかな田園風景を味わう	6.8km	"	2005年10月
35	足柄駅コース	高台の古墳群にいしえの生活を連想して	5.0km	"	2006年10月
36	小田原駅コース	海沿いの小径に城下町の自然と歴史を訪ねて	5.8km	"	2004年10月
37	小田原駅～箱根板橋駅(箱根登山線)コース	城を囲むゆかりの社寺を訪ね相模湾を望む	5.6km	"	2006年10月
38	栗平駅～五月台駅コース	尾根道の線の先に里山風景を訪ねて	4.0km	多摩線	2007年10月
39	黒川駅～栗平駅コース	雑木林の尾根道に自然を求めて	3.2km	"	2003年10月
40	黒川駅コース	里山に囲まれた田園風景との出会いを求めて	4.7km	"	2003年3月
41	小田急永山駅コース	自然豊かな公園と横のある並木道を歩む	6.7km	"	2004年10月
42	小田急多摩センター駅～小田急永山駅コース	多摩ニュータウン内の公園や緑道を巡って	6.5km	"	2004年10月
43	小田急多摩センター駅コース	ニュータウンの緑の小径を一巡り	6.5km	"	2007年10月
44	小田急多摩センター駅～唐木田駅コース	多摩ニュータウンの並木道をたどって	3.0km	"	2003年10月
45	唐木田駅コース	小山田緑地の樹木と小池を巡って	6.5km	"	2003年3月
46	東林間駅～中央林間駅コース	さくらの散歩道と歩行者専用道を歩いて	5.3km	江ノ島線	2003年3月
47	中央林間駅～南林間駅コース	ケヤキ並木からゆかりの社寺を訪ねて	4.7km	"	2007年10月
48	大和駅～鶴間駅コース	四季おりおり楽しめる泉の森を巡って	4.2km	"	2005年10月
49	大和駅コース	公園と社寺の緑にオアシスを求めて	9.0km	"	2007年10月
50	桜ヶ丘駅～高座渋谷駅コース	引地川千本桜と花の寺を巡って	3.5km	"	2003年3月
51	高座渋谷駅～桜ヶ丘駅コース	境川沿いにある保存緑地をたどって	7.6km	"	2005年10月
52	長後駅～湘南台駅コース	街中の緑道からのどかな景色の境川へ	5.4km	"	2004年10月
53	六会日大前駅(天王森公園)コース	のどかな田園風景を楽しみながら天王森公園をめざして	8.0km	"	2006年10月
54	六会日大前駅(引地川)コース	引地川に沿ってウメと緑と歴史を求めて	7.5km	"	2007年10月
55	善行駅(大庭城址公園)コース	引地川沿いの大庭城址公園を訪ねて	8.3km	"	2004年10月
56	善行駅(東保野中央公園)コース	川沿いの田園風景を楽しみながら丘の上の公園を目指して	7.0km	"	2007年10月
57	藤沢本町駅コース	藤沢の歴史ある社寺と自然を訪ねて	5.5km	"	2005年10月
58	本鶴沼駅～藤沢駅コース	駅近にある公園で豊かな自然と触れ合って	3.4km	"	2006年10月
59	鶴沼海岸駅～藤沢本町駅コース	引地川沿いの緑と由緒ある社寺を巡って	4.5km	"	2003年3月
60	片瀬江ノ島駅コース	潮の音の中をタブノキに囲まれた社寺を巡って	5.3km	"	2003年3月

2007年10月現在

小田急沿線自然ふれあい歩道総延長 349km